

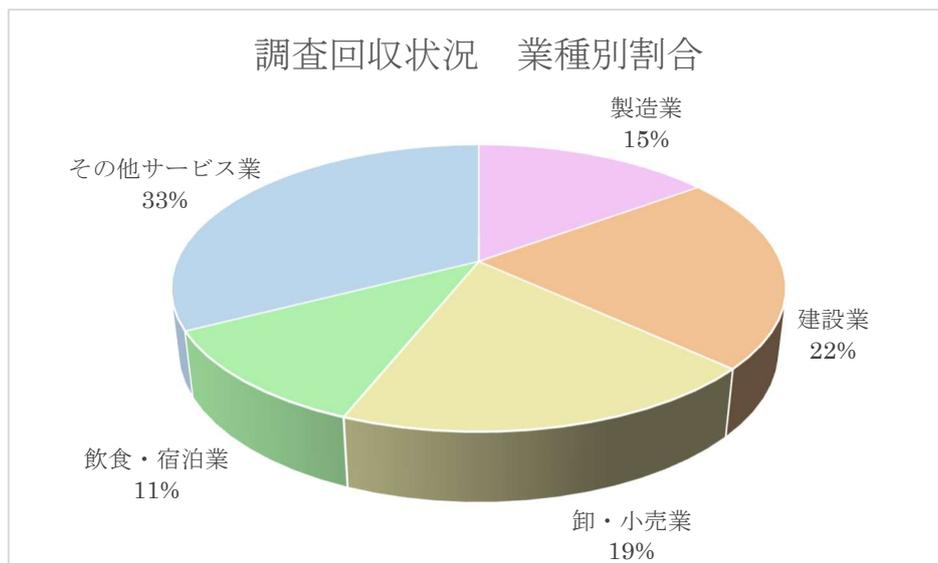
## 千歳市景気動向調査結果

調査期間：2025年4～6月の実績と2025年7～9月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査対象：千歳商工会議所会員及び特定商工業者

回収状況：141社



### DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2025年1～3月）と比較した今期（2025年4～6月）の実績及び、今期（2025年4～6月）と比較した来期（2025年7～9月）の予測、今期（2025年4～6月）と前年同期の比較を掲載しています。

## 《 全体の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】			来期予測 (7～9月)
業況	▲6.6	→	▲6.4	【8.1】	→	▲2.1
売上	2.5	↑	16.3	【17.9】	↓	4.3
採算	▲14.9	→	▲14.2	【▲4.1】	→	▲12.1
原材料	▲71.9	→	▲67.4	【▲74.8】	→	▲63.1
資金繰り	▲13.2	↑	▲5.0	【4.9】	→	▲6.4
労働時間	▲1.7	→	0.7	【5.7】	→	2.1
雇用状況	33.1	→	29.8	【38.2】	↑	35.5

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

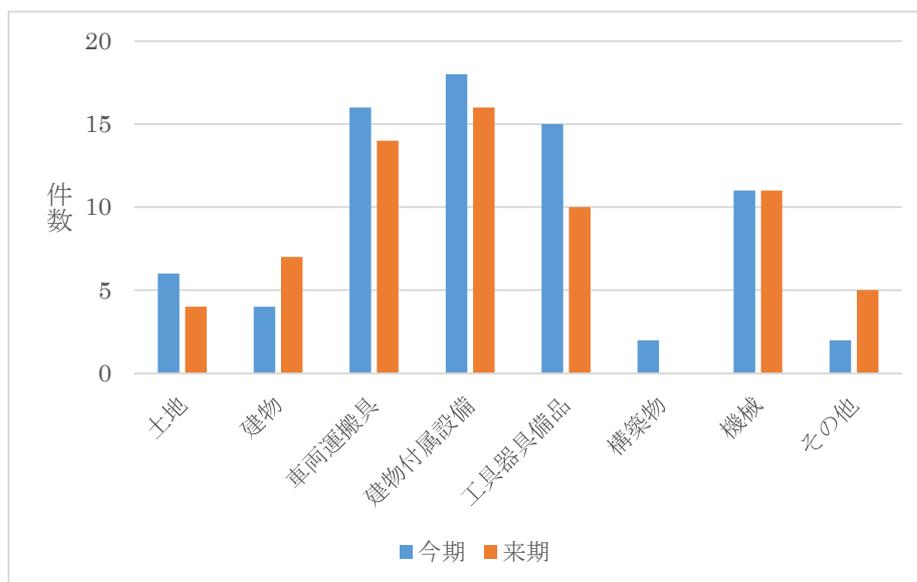
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は40.5%

今期(4～6月)設備投資をした企業は35.5%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は34.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 製造業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲47.4	↑	▲33.3 【▲17.6】	↑	▲19.0
売上	▲15.8	↑	9.5 【11.8】	↓	▲14.3
採算	▲31.6	→	▲33.3 【▲29.4】	↑	▲23.8
原材料	▲73.7	↓	▲85.7 【▲70.6】	↑	▲71.4
資金繰り	▲21.1	↑	▲4.8 【11.8】	→	▲9.5
労働時間	▲15.8	↑	9.5 【0.0】	↓	0.0
雇用状況	26.3	↑	33.3 【23.5】	→	38.1

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

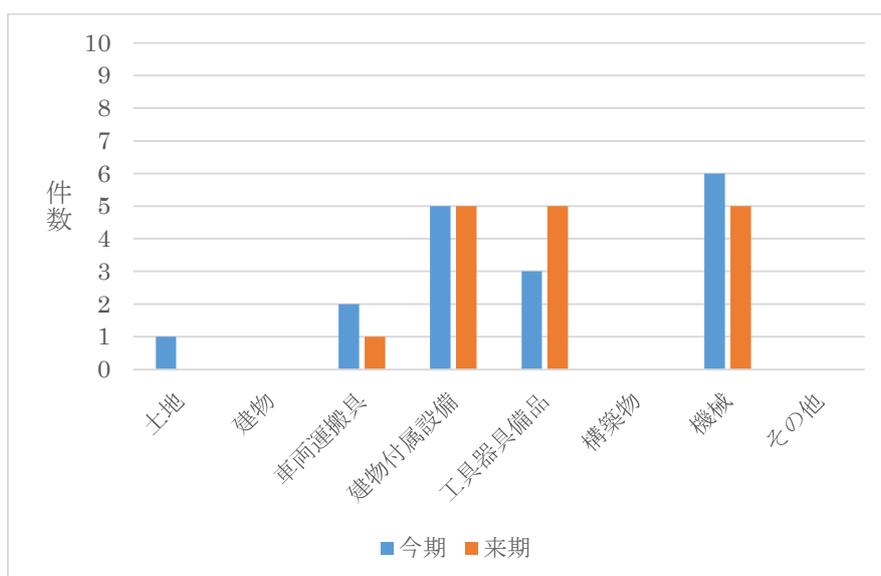
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は57.9%

今期(4～6月)設備投資をした企業は57.1%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は57.1%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 建設業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	15.4	↓	▲12.9 【12.5】	→	▲16.1
売上	▲7.7	↑	12.9 【4.2】	↓	▲9.7
採算	▲23.1	↑	▲16.1 【▲8.3】	↓	▲22.6
原材料	▲76.9	↑	▲58.1 【▲79.2】	→	▲58.1
資金繰り	▲11.5	→	▲12.9 【4.2】	↓	▲19.4
労働時間	▲7.7	↑	12.9 【4.2】	↑	22.6
雇用状況	53.8	↓	35.5 【66.7】	↑	41.9

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

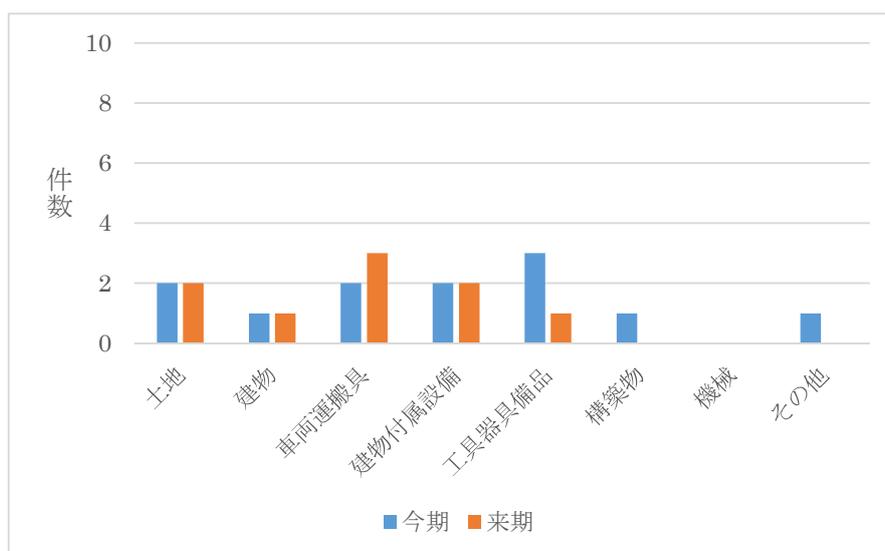
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は46.2%

今期(4～6月)設備投資をした企業は29.0%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は19.4%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 卸・小売業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲9.1	↑	29.6 【23.8】	↓	22.2
売上	▲9.1	↑	29.6 【23.8】	→	25.9
採算	0.0	↑	18.5 【4.8】	↓	11.1
原材料	▲90.9	↑	▲70.4 【▲81.0】	→	▲66.7
資金繰り	▲36.4	↑	3.7 【▲4.8】	→	3.7
労働時間	18.2	↓	11.1 【19.0】	↓	7.4
雇用状況	27.3	→	25.9 【47.6】	↑	33.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

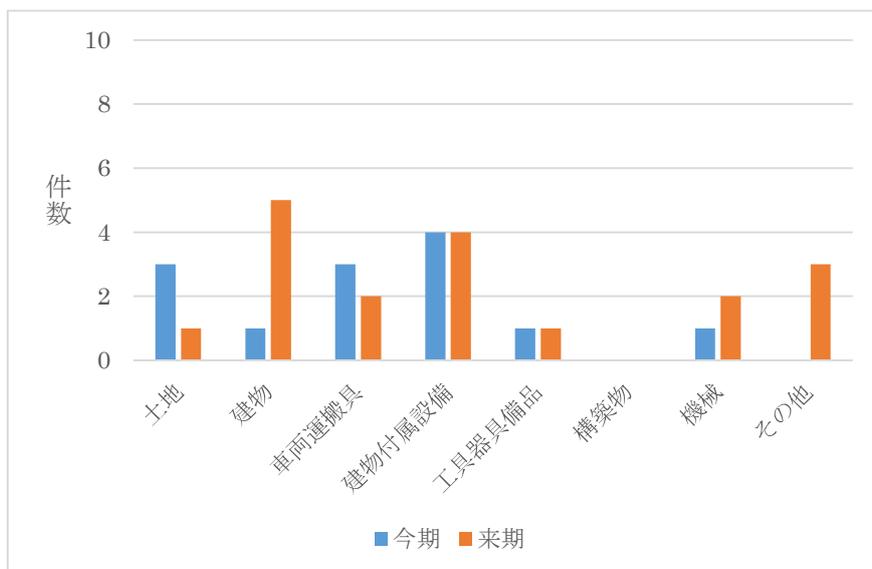
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は18.2%

今期(4～6月)設備投資をした企業は29.6%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は40.7%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 飲食・宿泊業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲7.1	↑	6.3 【35.0】	↑	12.5
売上	0.0	↑	37.5 【40.0】	↓	18.8
採算	▲14.3	↓	▲25.0 【30.0】	↑	▲18.8
原材料	▲92.9	↑	▲87.5 【▲80.0】	↑	▲81.3
資金繰り	▲14.3	↑	0.0 【20.0】	↑	6.3
労働時間	21.4	↓	▲6.3 【30.0】	↓	▲12.5
雇用状況	35.7	↓	18.8 【20.0】	↑	31.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

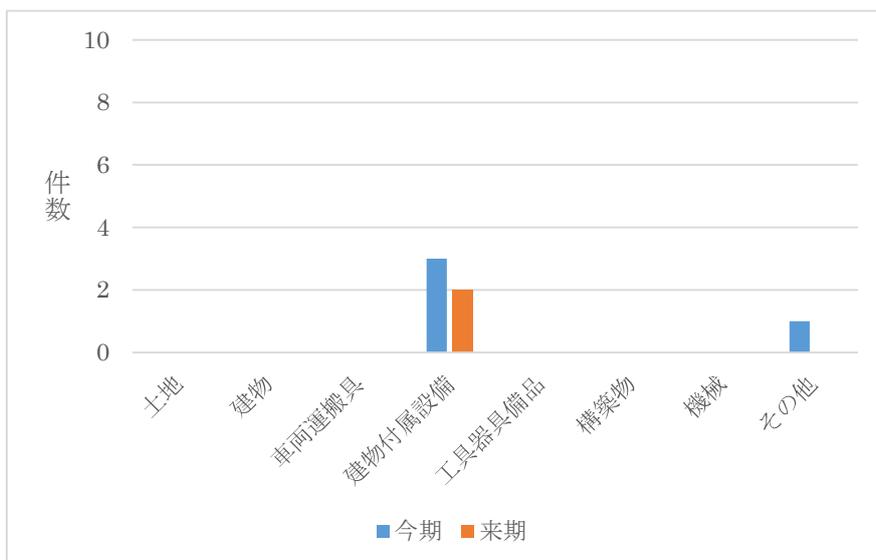
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業14.3%

今期(4～6月)設備投資をした企業は25.0%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は12.5%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲2.0	↓	▲15.2 【▲4.9】	↑	▲4.3
売上	17.6	↓	6.5 【14.6】	→	4.3
採算	▲7.8	↓	▲19.6 【▲12.2】	↑	▲10.9
原材料	▲58.8	→	▲56.5 【▲68.3】	→	▲54.3
資金繰り	▲5.9	→	▲6.5 【0.0】	→	▲6.5
労働時間	▲3.9	↓	▲15.2 【▲9.8】	↑	▲8.7
雇用状況	25.5	→	30.4 【31.7】	→	32.6

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

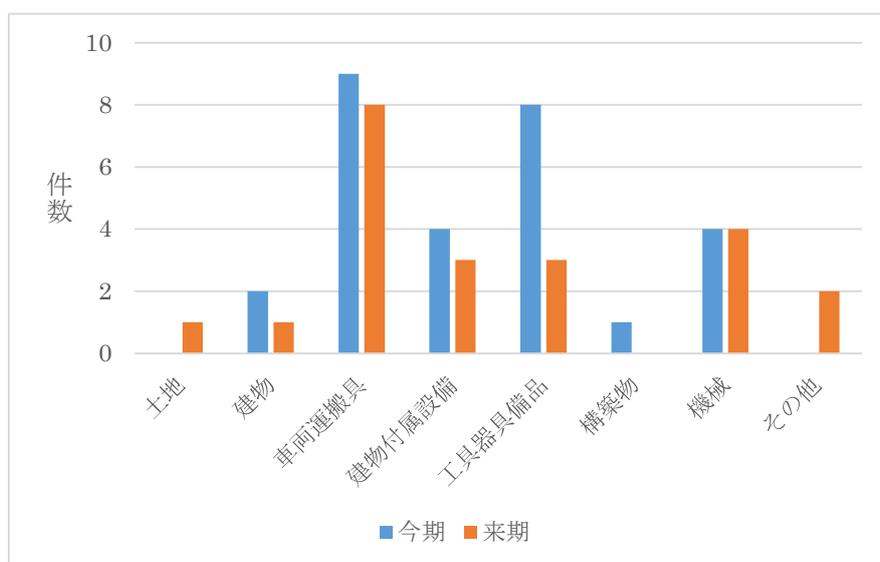
### 【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は43.1%

今期(4～6月)設備投資をした企業は35.5%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は34.0%

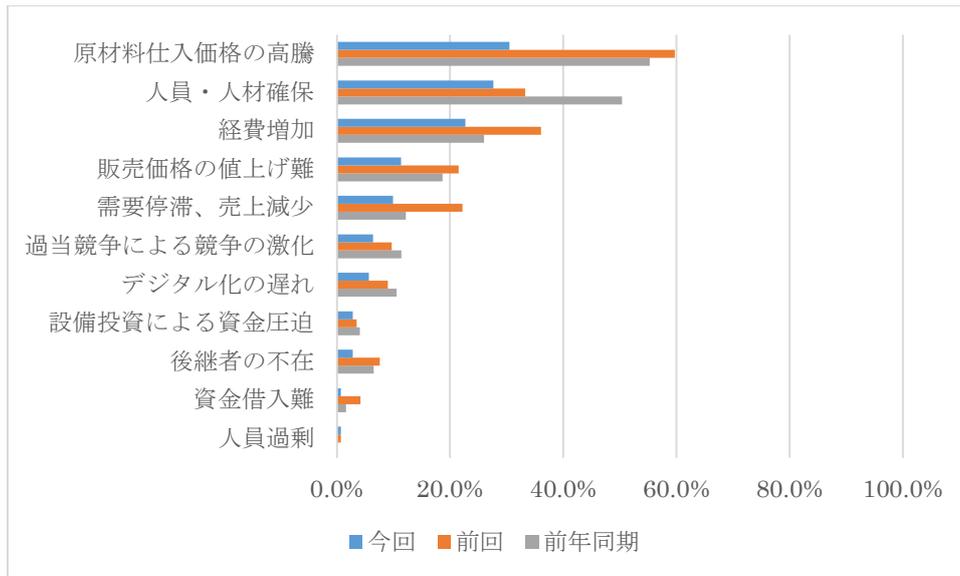
設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査で、経営上直面している問題点で多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（30.5%）』、次に、『人員・人材確保（27.7%）』『経費増加（22.7%）』が多い結果となりました。

前期と比較すると、『原材料仕入価格の高騰』は29.2ポイント低下、『人員・人材確保』は5.6ポイント低下、『経費増加』は13.4ポイント低下となっています。



## 《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保
2位	経費増加 需要停滞、売上減少 人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	経費増加 人員・人材確保	経費増加	原材料仕入価格高騰
3位		経費増加		販売価格の値上げ難	経費増加

## 《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

<p>対象事業者</p> <p style="text-align: center;">市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、 新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

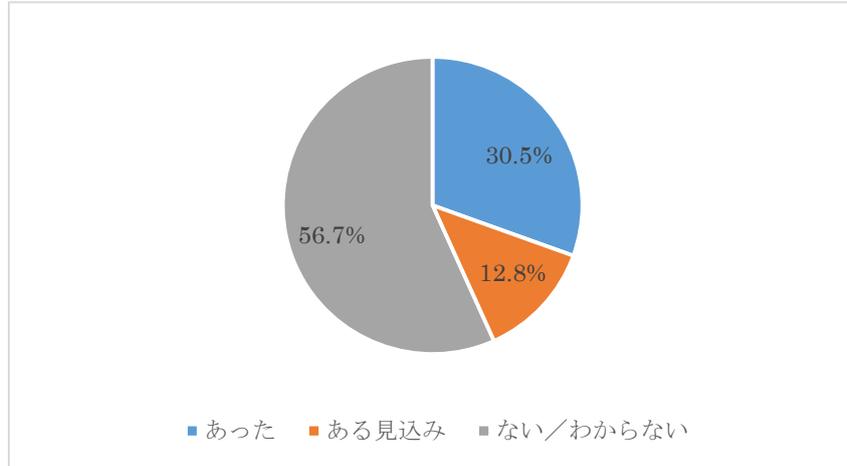
### 景気動向

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	5.9	↑	45.5 【14.3】	↓	27.3
売上	17.6	↑	72.7 【28.6】	↓	27.3
採算	5.9	↑	18.2 【7.1】	↓	0.0
原材料	▲94.1	→	▲90.9 【▲89.3】	→	▲90.9
資金繰り	▲5.9	↑	27.3 【7.1】	↓	18.2
労働時間	23.5	↓	▲9.1 【10.7】	→	▲9.1
雇用状況	▲52.9	↑	▲36.4 【▲35.7】	→	▲36.4

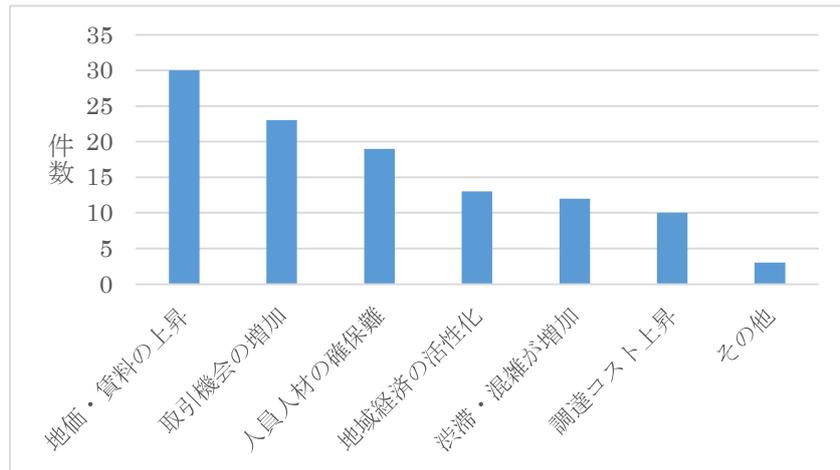
表中の矢印 . . . . . 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

## 《 次世代半導体製造企業の進出について 》

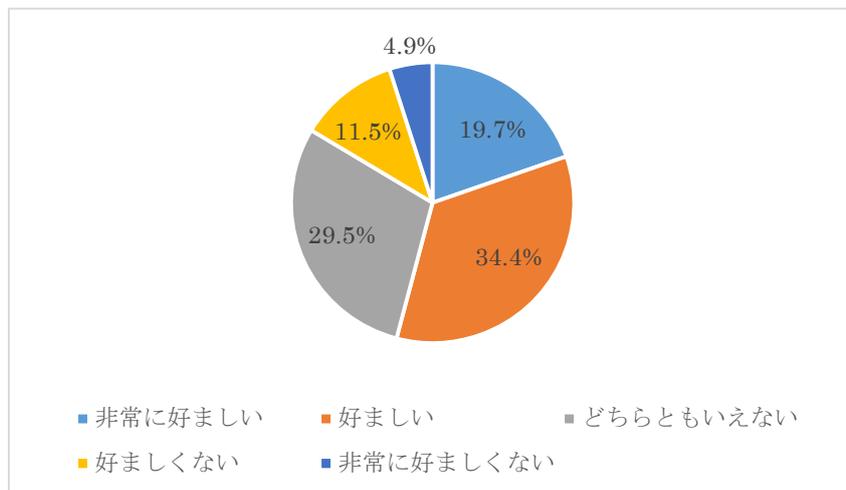
『次世代半導体製造企業の進出により、何らかの影響や変化がありましたか。』という問いに対し「影響があった」が30.5%、「ある見込み」が12.8%、「ない／わからない」が56.7%でした。



『影響があった』『影響がある見込み』と回答した企業における、主な影響は以下の通りです。



『影響をどのように受け止めていますか。』という質問に対する回答は、以下の通りです。



## 《 企業の声 》

今回の調査では、企業が直面している主な課題として「原材料仕入価格の高騰」および「人材不足」が多く挙げられました。特に人材面では、採用の困難さや次世代人材・専門技能人材の確保が課題となっており、千歳市内での大手企業進出に伴う賃金上昇や人材確保の難しさについて懸念が示され、一部ではすでに人材獲得に支障が生じているとの声も寄せられました。

景気動向については、今期の実績は前期と比べ改善が見られる項目が多く、全体として上向き傾向が確認されました。一方、来期予測では「悪化」または「横ばい」との回答が多く、先行きに対する見方は慎重です。業種別では、その他サービス業で今期実績が悪化したものの、来期は観光やレジャー需要の高まりを背景に改善を見込む回答が寄せられました。

次世代半導体製造企業の進出については、約4割の企業が「すでに影響あり」または「今後影響あり」と回答し、具体的には「地価・賃料の上昇」や「取引機会の増加」が挙げられました。影響評価は「好ましい」「非常に好ましい」が半数超、「好ましくない」は2割弱で、全体として前向きに捉える傾向が見られます。

自由記述欄では、補助金・助成金情報やM&A仲介、AI活用や業務システム化の支援など具体的な要望が寄せられました。また、地域固有の課題として「LPガススタンド閉鎖によりタクシー事業者が給油に困っている」との声もあり、地域交通の問題も浮き彫りになっています。

こうした声を踏まえ、当会議所では公式 Instagram で地域企業の求人情報を広く発信するほか、業種別異業種交流会の開催を予定し、事業者同士の交流と情報交換の場を提供しています。さらに、10月3日からの持続化補助金公募に合わせ、11月17日・18日に「事業計画策定個別相談会」を開催します。補助金申請を検討される事業者は、ぜひご活用ください。

※異業種交流会開催予定

交流会 種別	開催日
業種別①（サービス業・商業）	9/30（火）
業種別②（工業・庶業）	10/17（金）